

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌「エピストゥラ」

2020 Summer
vol.59

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

2020 Summer
vol.59

大分県立芸術文化短期大学広報誌「エピストゥラ」2020年6月10日発行 通巻59号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 / TEL.097-545-0542(代表) / FAX.097-545-0543



特集記事

✒️ 小手川新学長インタビュー

「EPISTULA」: 古典ラテン語で「手紙」という意味です。広報室からみなさまへ、芸文短大の「いま」を伝えるお手紙をお届けします。

2020年3月をもって芸文短大を退職された竹内裕二先生より、メッセージをいただきました



情報コミュニケーション学科
竹内裕二准教授

2015年4月に赴任して以来5年間、お世話になりました。私にとつての大分は、初めて生活をする地でしたが、振り返ってみれば、様々な地域住民参加型の活動をしました。学生たちにとっては、荷の重たい活動が多かったと思いますが、結果的に大きく成長し、巣立っていききました。

この背景には、地元住民の支援があったからこそ継続した活動ができたと考えます。この場を借りてお礼を申し上げます。私から活動を共にした学生へ「自分が親世代になった時、次世代の子たちへ自分がしてもらった恩をお返しできる人になってほしい」と願っています。

奨学金・その他制度について

1) 高等教育の就学支援新制度

世帯の所得区分(第Ⅰ～Ⅲ)に応じた金額の給付奨学金と授業料・入学料減免の両方が受けられる制度です。

給付奨学金		第Ⅰ区分(3/3免除)	第Ⅱ区分(2/3免除)	第Ⅲ区分(1/3免除)
		支給額		
自宅通学	自宅通学	29,200円	19,500円	9,800円
	自宅外通学	66,700円	44,500円	22,300円
授業料等減免		免除額		
		入学料	169,200円	112,800円
	授業料	390,000円/年	260,000円/年	130,000円/年

2) 日本学生支援機構奨学金(貸与)

種別	月額
第一種奨学金(無利息)	自宅通学 2万・3万・4万5千円から選択
	自宅外通学 2万・3万・4万・5万1千円から選択
第二種奨学金(利息付き)	2万～12万円の中から1万円単位で選択

3) その他の奨学金

大学を通さず直接財団へ申し込む奨学金制度や、各市町村で募集している奨学金もあります。本学に案内が届くものは全て提示で案内しますので、入学後、掲示板を確認してください。

4) 本学独自の授業料減免制度

経済的理由などで授業料の納付が困難な学生に対し、授業料の全額または半額(後期分)を免除する制度です。詳しくは本学ホームページで「授業料減免申請手続きについて」をご参照ください。なお1)の授業料減免を受けている場合は併用できません。

「授業料減免申請手続きについて」
サイトはコチラから▶



新型コロナウイルス感染防止対策について

本学では、新型コロナウイルス感染症へ以下の対策を行っております。

大学構内における感染防止対策

- 健康観察票によるセルフチェック
- マスクの着用
- 入構後、授業前後の洗手いの徹底、手指消毒薬の設置
- 混雑を避ける学生の動線、エレベーターの人数制限
- ドアノブ、共有物の消毒、使用後の手洗い (PC、タブレット、楽器、その他の学習で共有するもの)
- 学食は当面の間テイクアウトのみ
- 3密対策
 - ・換気の徹底
 - ・教室での座席数制限
 - ・向かい合っの食事を避ける
 - ・近距離での会話をしない
- 各部署受付にパーティション等の設置
- 紫外線滅菌装置、空気清浄機の設置



音楽棟

芸文短大における授業形態

- ①対面授業
- ②オンライン授業 同時双方向型(テレビ会議方式等)
- ③オンライン授業 オンデマンド型(インターネット配信方式等)
- ④オンライン授業&対面授業



人文棟



附属図書館

今後も国内外の情勢に注視し対策を行ってまいります。

情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学の公式Facebookでは、本学が主催するイベント・展示会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、サークルやイベント、研究室等でもFacebookを立ち上げています。

<https://www.oita-pjc.ac.jp>

芸文短大 検索

大分県立
芸術文化短期大学



美術科
ビジュアル
デザインコース



美術科
グラフィックアート
コース



美術科
プロダクト
デザインコース



音楽科



国際総合学科



情報
コミュニケーション
学科



小手川新学長インタビュー

4月に就任した小手川大助学長に芸文短大の魅力や学生への思いを伺いました。

これまでの経験について教えてください

どのような学生時代を過ごされ、将来についてどのように考えていましたか。

夜学におけるロシア語の習得とロシア語通訳のアルバイト、哲学研究会や野球同好会などの課外活動と、法律の勉強に集中してました。暇な時間がなく東京に来て2年たっても「青山通り」がどこにあるか知りませんでした。

大切にしていることは何ですか。

世界全体の動きを頭において、自らの座標軸の位置を常に確かめながら物事の軽重を判断することにしています。また、常に前を向いて進み、失敗や忘れ物があっても決してよくよしない、ストレスなしの生活を心がけています。

大分県立芸術文化短期大学について思うこと

芸文短大の強みをお聞かせください。

地元が高く評価されていること、全国唯一の芸術系の公立短期大学というユニークな地位を有すること、人文系と芸術系がうまく組みあわさって、世の中の需要に対応できる体制になっていることだと思います。

今後のビジョンをお聞かせください。

学生の皆さんが、一度しかない人生を最大限に活用し、世界中の素晴らしいものに触れられて、それを郷土や自分自身にしかないとこのコラボに役立てていくと、世界中の人を更に幸せにできるのだと思います。私の今までの経験や人的ネットワークを生かして、そのようなことのお手伝いができればと思います。

プロフィール

大分県臼杵市出身、東京大学法学部卒
財務省内閣官房審議官、
国際通貨基金日本政府代表理事等を歴任
一般財団法人キャノングローバル戦略研究所研究主幹



① ロシア中央銀行総裁エリヴィラ・ナピウリナ(右から2番目)、プリマバレリーナ ディアナ・ヴィシニョーフ(中央)と(サントペテルブルク 夏の宮殿)
② ミラノ・スカラ座バス歌手フェルッチョ・フルラネット、指揮者ワレリー・ゲルギエフと(モスクワ)
③ 指揮者ワレリー・ゲルギエフ、超絶技巧ピアニスト デニス・マツエフと(東京)
④ ボリジョイ・バレエ団員、上月豊久・駐ロシア大使と(モスクワ・日本国大使館)
⑤ 平昌五輪フィギュアスケート銀メダリスト エフゲニア・メドヴェージェワ、ピアニスト松田華音と(モスクワ・日本国大使館)

学生へ向けて

学生に期待していることは何ですか。

規則正しい健康な生活や勉学を通じて、人生で最も大事な知識と生活の基礎を身に付けてください。大分には素晴らしいものが沢山ありますし、ネットが発達した現在、ネットを使って大分や日本の外の世界のことも容易に知ることができます。好奇心をもって色々なものにアタックしてください。

学生生活の中で身につけて欲しいことはありますか。

焦らずに、それぞれの分野で、基礎を忍耐強く身に付けてください。2年〜3年頑張ると、そのご褒美は必ず向こうからやってきます。

視野を広げていくためにも、どういったことに心がけるべきですか。

何にでも興味を持ち、先輩にも臆せず自分からぶつかっていき、リスクを取って行ってください。若い時に失敗はつきものなので失敗しても落ち込まず、「明日には明日の風が吹く」「人間万事塞翁が馬」の精神で頑張ってください。

更に深堀!



Q. 学生時代のあだ名は何でしたか?

A. 残念ながらありませんでした。小さい時から「大ちゃん」と呼ばれてました。

Q. 学長おすすめの本や音楽を教えてください。

A. 【本】A.J. クローニン「天国の鍵」
【音楽】ストラヴィンスキー「春の祭典」

Q. 「座右の銘」にしている言葉があれば、教えてください。

A. 「誠意通天」誠意は天に通じる。

Q. もし学生に戻れるとしたら、勉強したい分野はありますか

A. コンピューター、ネット通信の基礎

国際総合学科

国際総合学科 学科長
疇谷憲洋



Department of Global Studies

「世界がキャンパス」が合言葉の国際総合学科ですが、新型コロナウイルスの世界的流行の影響で、授業が突然オンラインになるだけでなく、例年は韓国・イギリスで実施していた夏の海外語学実習が中止になるなど、学生のみなさんにはあらゆる面で不自由な思いをさせていることと思います。オンライン授業の実施に関しては、教員も初体験のことが多く、みなさんに助けてもらいながらなんとか授業をやっています。

こうした大学での授業の在り方だけでなく、身の回りのいろいろなことに、これまでの常識では通用しない事態が次々と起こっています。変化の連続に戸惑っている人もいるでしょう。しかし、スマートフォンやタブレット、パソコンを駆使して一生懸命授業を受けている学生のみなさんを見ると、大学教育の在り方が変わっていくかもしれないと、少しワクワクしています。

教育だけではありません。これから世界も変わります。きっと変わります。しばらくは海外に出ていくことも難しいですが、大学での学びが世界につながる「キャンパスを世界に」を合言葉に、変わる世界を生き抜くため、ともに学んでいきましょう。

美術科

美術科 学科長
松坂洋三



Department of Art and Design

美術科へようこそ。待ちに待った美術やデザインへの授業は初めて学ぶことばかりで、毎日楽しいキャンパスライフではないでしょうか。私たち美術科教員スタッフ一同、皆様を歓迎いたします。

現代のような多様化の時代と未来の社会において、人間中心のアートやデザインの役割は人々に潤いと喜びを与え住みやすい環境づくりに重要な役割を果たしています。皆さんが、そのような美術の道を選び、努力し、進歩できた事は大変幸福なことだと思います。

また、皆さんの住む大分県は美しい自然と景観に満ちており、これは先人たちの美への畏敬の念が作り出したものであります。皆さんもそのような美を見る目を養うことは、一人一人の人生を豊かに実りある幸せなものにすると思います。

卒業までの2年間をしっかりと美術、デザインの専門家である私たちが指導させていただきます。2年間の成長の様子と2年後の立派な卒業制作を皆様の保護者様やお世話になった先生へ見せてください。よろしくお願ひします。

情報コミュニケーション学科

情報
コミュニケーション学科
学科長 藤田文



Zoomを使ったオンライン授業の準備

Department of Communication and Information Studies

授業が大幅に遅れて開始されている状況ですが、情報コミュニケーション学科では、オンライン授業を取り入れながら、学生の皆さんと一緒に歩みを進めているところです。

2年生は就職活動で、説明会が中止や延期となり、移動しにくい地域があったりと、思うようにいかない部分もある中、よく頑張っていると思います。学科では、オンライン面接にも対応できるように指導方法を準備をしているところです。就職や進学など進路に関する指導は、ゼミを中心に本格的に実施していきます。1年生は、大学での履修や学習の仕方に戸惑うこともあるかもしれませんが、まずは、遠慮なくゼミの先生に相談してみてください。

この難しい状況の中で、学生の皆さんと教職員一同で一緒に工夫することによって、新しい学びの形や新たなコミュニケーションの形が発見できるのではないかと、楽しみにしています。「人間万事塞翁が馬」という言葉を胸に、しっかりと学生の皆さんの成長を支えていきます。

音楽科

音楽科 学科長
川瀬麻由美



Department of Music

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、世界各地で外出制限が長引き、多くのコンサートやイベントも中止を余儀なくされたことにより、街中は静寂に支配されたようでした。このような状況にこそ、音楽が必要とされるべきですが、今は多くの人が集まって歌うことも楽器を吹くことも我慢を強いられております。

学生生活においても先の見えない不安な日々を過ごされているかと思いますが、楽器を奏で、音楽に没頭している間だけは、暫し不安やストレスから解放され、心にゆとりを持つことができます。皆さんもこの静かな時間を大切に「今できること」に取り組み、知識を深め、技術を磨きましょう。

定期演奏会をはじめ、音楽科のコンサートについては、今後の状況下において出来得る開催方法を検討してまいります(大学のHPと学内の掲示をこまめにチェックしてください)。収束の後、音楽への思いを蓄えた皆さんと互いの音を重ね合わせて、再びステージに立てる日まで、共に乗り切ってください。



第60回入学式・第42回専攻科入学式を執り行いました

2020年度入学式を4月6日(月)、本学にて執り行いました。

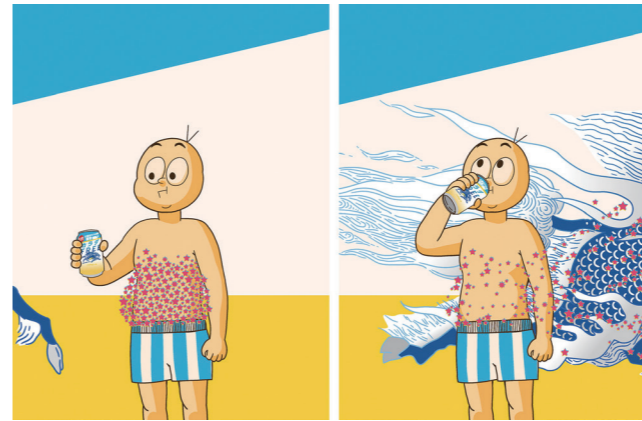
今年度は新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を踏まえ、会場や開始時間を分散し、入学生にマスク着用、手指消毒、換気など予防対策を講じた上での実施となりました。各学科に分かれ、短大に391名(美術科83名、音楽科72名、国際総合学科115名、情報コミュニケーション学科121名)、専攻科には41名(造形専攻19名、音楽専攻22名)の計432名が入学許可をされました。小手川大助学長は式辞で「失敗を恐れずにチャレンジを繰り返し、身の詰まった2年間を過ごしてください。」と新入生にエールを送り、入学生宣誓では短大と専攻科から代表の学生が「学則を守り、学生としての本分をつくします。」と宣誓しました。



本学学生が「第87回毎日広告デザイン賞」で優秀賞を受賞しました!

「第87回毎日広告デザイン賞 一般公募・広告主課題の部」において本学の専攻科造形専攻ビジュアルデザインコース2年生 帯屋里沙さんの作品が優秀賞を受賞しました。

この広告賞は毎日新聞社が毎年実施しているもので、プロ・学生を問わず全国から1000点近い応募がある中で、帯屋さんの作品が入賞することとなりました。4月3日(金)付の毎日新聞朝刊に名前が掲載されたほか、毎日広告デザイン賞ウェブサイトで作品を見ることができます。



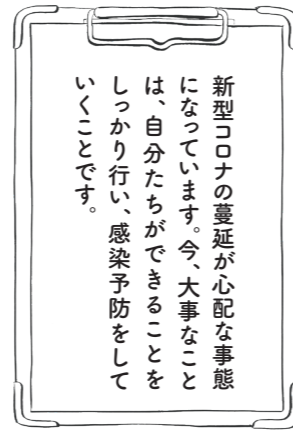
毎日広告デザイン賞 一般公募・広告主課題の部 第87回入賞作品一覧 <https://macs.mainichi.co.jp/design/ad-m/work/8701.html>

保健室からのお知らせ

発熱や風邪症状がある方は、無理をせずに学校やアルバイトを休み、外出は控えましょう。37.5度以上の発熱、強いだるさ、せきや痰、下痢等の症状がある学生は公欠の扱いになります。

効果的な予防策である入念な手洗いやマスク着用を徹底しましょう。

「換気の悪い密閉空間」「多くの人の密集」「近距離での会話」の条件が、ひとつでもある場所を避けましょう。



【新型コロナウイルス対策について】

新型コロナウイルスの蔓延が心配な事態になっていきます。今、大事なことは、自分たちができることをしっかりと行い、感染予防をしていくことです。



若い方は、自覚症状がなく感染の発見が難しい場合が多いので、慎重な行動が必要です。日頃から十分な栄養や休養をとり、自己免疫力を高めておくこと、体温を測り健康状態を知ることが大事です。早く収束するように、お互いに努力していきましょう。

令和2年
芸文短大 保健管理センター

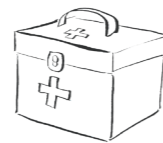
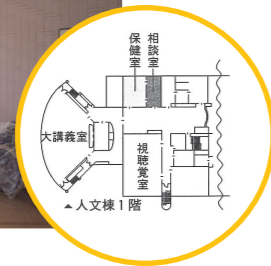


保健室のご案内

開室時間 平日9:00~17:00

利用時は、「保健室利用者カード」(保健室備え付け)に必要事項を記入します。閉室時(平日)に急病等の場合は、教務学生部へ連絡してください。

保健室は、人文棟1階の大講義室手前にあります。けがや病気の時は応急処置をします。また心身の健康に不安がある場合には相談に応じます。



サービ斯拉ーニング報告

「新型コロナウイルスに負けない! 手作りマスク増産プロジェクト」を行っています!

新型コロナウイルスの影響により、情報コミュニケーション学科が主体となって展開しているサービ斯拉ーニングは、例年の形での実施が難しくなっています。それでも今年度は3つの「密」を避けて、新しい活動をいくつか準備・計画しています。

その一つ、全国的な課題となっているマスク不足に対し、衛生面に十分に注意し、安全な不織布マスクを学生で手作りし、困っている方々に配布しようという「新型コロナウイルスに負けない! 手作りマスク増産プロジェクト」を行っています。

学生の皆さんが主旨を理解し、自宅にいながら社会貢献できるプロジェクトとして、まずは1800枚を目標に掲げスタート。5月18日(月)には、小手川学長へ活動を報告し、学内各所にマスクを配りました。



附属図書館のご案内

開館時間と休館日

開館時間: 平日 9:00~19:00
(夏期・冬期・春期の長期休業中は9:00~17:00)
休館日: 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月28日~1月3日)

※開館時間の変更や臨時休館日がある際は随時、図書館HPでお知らせしています。

和書・洋書合わせて約8万冊と300種類以上の雑誌を揃えており、用途に合わせて資料を探すことができます。また、附属図書館にない書籍や資料などは、取り寄せなどのサービスも行っています。

